

別添 1

基本評価シート
(イノシシ)

(群馬県 自然環境課)

基本評価シート（イノシシ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業（赤城地区、神津地区、尾瀬地区、秋畑地区）		
都道府県名	群馬県	担当者部・係名	環境森林部 自然環境課野生動物係
担当者名	友松	担当者連絡先	027-226-2874
捕獲実施事業者	（株）WS a T、（一社） 群馬県猟友会 （認定を受けている・ 受けていない）	予算額（※2）	65,584千円
		予算額の内捕獲に要 する経費（※3）	56,587千円

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み
〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
70頭	30頭	43%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
20,580～26,130頭	12,000頭	H25生息数の半減（R5）
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
1,799頭（R5） ※R6は集計中	4,425頭（R5） ※R6は集計中	17頭（R5） ※R6は集計中

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

特になし

3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	<p>評価：県全体の捕獲目標に対して、43%の達成率であった。全ての地区が捕獲目標に達しなかった。</p> <p><赤城地区>捕獲目標 30 頭に対して、13 頭の実績（達成率 43%）</p> <p><神津地区>捕獲目標 10 頭に対して、3 頭の実績（達成率 30%）</p> <p><尾瀬地区>捕獲目標 20 頭に対して、5 頭の実績（達成率 25%）</p> <p><秋畑地区>捕獲目標 10 頭に対して、9 頭の実績（達成率 90%）</p> <p>改善点：各地区とも年変動を考慮しながら今年度の捕獲実績を参考に、より適切な目標頭数の設定を検討する必要がある。</p>
【実施期間】	<p>評価：概ね適切な捕獲時期に取り組むことができた。</p> <p>改善点：引き続き適した時期での捕獲に努め、捕獲期間を確保する。</p>
【実施区域】	<p>評価：昨年同様の地区で実施したことにより、過年度の捕獲実績を分析した上で、銃猟実施区域の選定、くくりわな設置場所の選定ができた。</p> <p>改善点：引き続き調査結果を基に見直しを行う。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：銃猟及びくくりわなによる方法が効果的であった。</p> <p><赤城地区>自動通報装置を活用した見回りの省力化や餌誘引の実施により、くくりわな及び囲いわなの効率的な稼働ができた。また、イノシシの警戒心を高めないように、適度な間隔を空けて巻き狩り及び忍び猟を行った。</p> <p><神津地区>自動撮影カメラ調査や痕跡調査の結果をもとに、くくりわなの設置場所の移動や銃猟の実施場所選定を行い、効率的な捕獲を実施した。</p> <p><尾瀬地区>痕跡調査をもとに、くくりわなの設置場所の移動を行い、効率的な捕獲を実施した。</p> <p><秋畑地区>自動撮影カメラの結果やライトセンサス、痕跡調査をもとに、くくりわなの設置場所の移動を行い、効率的な捕獲を実施した。</p> <p>改善点：くくりわなの見回りの省力化には自動通報装置の活用が有効であり、導入可能な地区において引き続き活用したい。銃猟については、実施日の生息状況が実績に影響するが、作業日報や自動撮影カメラ調査結果等の活用により、捕獲従事者間の情報共有につなげ、効率的な実施に努めたい。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：実施体制としては十分な人数を確保できた。</p> <p>改善点：引き続き効率的な捕獲に努めたい。</p>
【個体処分】	<p>評価：豚熱感染拡大防止対策を行ったうえで、適切な処分が実施された（焼</p>

	却・埋設)。
	改善点：引き続き適切な個体処分に努めたい。
【環境配慮】	評価：錯誤捕獲の防止及び一部非鉛製銃弾の使用に努めた。
	改善点：全地区において非鉛製銃弾への切り替えに移行したい。
【安全管理】	評価：事故もなく事業を完了することができた。
	改善点：引き続き安全確保に努めたい。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 全地区でイノシシの目標頭数を達成していない状況である。その原因としては、令和 5 年度時点で、平成 25 年度比の半減目標を達成し、県全域でのイノシシの生息数が減少していることがあげられる。このことは、CPUE が、0.0004 頭/基日と非常に低く、捕獲効率が悪い状況であることから示されている。 今後は、限りある財源や人的資源を有効活用するため、イノシシの捕獲目標の適正な設定値を検討していく。また、設定に当たっては、各地域間でのイノシシの捕獲頭数の増減を検討するだけでなく、シカの捕獲頭数の設定も考慮するものとしたい。 ＜赤城地区＞業務期間内にイノシシとの遭遇が少なかったことからイノシシの生息密度は低いことが考えられる。豚熱問題もあるため、イノシシの捕獲も積極的に行っていく必要があるが、捕獲に際しては、センサーカメラを使用したカメラ調査の他にも区画法、糞塊法、ライトセンサス等の手法を組み合わせることで適正な生息密度を求めるモニタリングが重要と考える。今後もモニタリングを継続し、効率的な捕獲実施に努めたい。 ＜神津地区＞自動撮影カメラの累計撮影頭数が、11月以降に減少していたことから、なるべく10月までに目標頭数の捕獲数に達することが望ましいと考えられる。シカと同様、撮影頻度が高い自動撮影カメラが存在することから、周辺で捕獲を実施するなどし、効率的な捕獲を行いたい。 ＜尾瀬地区＞自動撮影カメラの撮影結果は、令和3年度及び令和4年度までは減少傾向であったが、令和5年度からは春期・秋期ともに増加傾向に転じた。モニタリングを継続し、効果的な捕獲に努めたい。 ＜秋畑地区＞自動撮影カメラの撮影頻度とライトセンサス共に増加傾向のため、イノシシの個体数が増加している可能性が考えられる。 ライトセンサス等の手法を組み合わせることで適正な生息密度を求めるモニタリングが重要と考える。今後もモニタリングを継続し、効率的な捕獲実施に努めたい。	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業の実施により、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲目標頭数に上積みすることができた。また、高標高地域など、本事業の実施前までは捕獲圧のかかっていた地域での実施により、近隣地での被害減少に効果があったと思われる。今後の生息状況等の調査を継続し検証していく。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1: 98人日

事前調査人日数概数※2: 0人日

出猟(捕獲作業)人日数: 98人日

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(銃猟) のべ人日数	98人日	169人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1: 1,837人日

事前調査人日数概数※2: 0人日

出猟(捕獲作業)人日数: 1,837人日

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量(わな猟) わなの稼働総数(わな基×日数)	73,459基日	73,636基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟(捕獲作業)人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	0頭	6頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	0頭 (赤城地区)	3頭 (赤城地区、神津地区)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

		、秋畑地区	
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0%	50.0% (3/6)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0%	66.6% (4/6)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	0頭	98人日	0頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	0頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	0頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	0頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数/のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数/のべ人日数。赤城地区のみで算出。

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする

③ わなによる捕獲

項目	令和6年 (事業年度の値)	令和5年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	30頭	41頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	36% (11/30)	46% (19/41)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	23% (7/30)	21% (9/41)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	30 頭	73,459 基日	0.0004 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	0 頭	基日	0 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲個体データ、写真及び証拠品（原則として尾）

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後においてする銃器を使用した鳥獣の捕獲等。